

授業科目(ナンバリング)	博物館展示論(CB304)			担当教員	中島 金太郎		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・前期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>テーマ：博物館展示とは何か？</p> <p>博物館は、法令上社会教育施設に位置付けられているが、その活動の主体を「展示」に置いていることが、同じ社会教育施設である図書館や公民館との最大の違いである。つまり、博物館が持つ最大の機能が展示であるとも換言できる。</p> <p>本授業は、博物館展示の歴史、分類、手法を学び、博物館展示に関する体系的な知識の取得を目的とする。</p>							②⑨⑩
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	資料だけではなく、博物館における「展示」そのものに関する知識を付けることができる。また、地域や館の形態など多様な設置条件に即した展示を理解し、その違いを判断することができる。				確認テスト 課題レポート	10% 30%	
情報収集、分析力	博物館に必要とされる展示を分析し、説明することができる。				定期試験	60%	
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>評価は、定期試験 60%、確認テスト 10%、課題レポート 30%の配分で行う。</p> <p>定期試験は筆記試験により行い、講義内容を十分に理解できているかを評価基準とする。</p> <p>確認テストは、第 5 回、第 10 回、第 15 回に実施する。確認テストでは、それまでの授業内容を明確に理解しているか、正確に記述しているかを問う。</p> <p>また、第 1 回授業の際に課題レポートを課し、第 14 回授業までに提出する。内容は、第 1 回授業の際に説明する。なお、ポートフォリオでフィードバックを行い評価する。</p>							
授業の概要							
<p>博物館展示の基礎的知識の取得を目指す。授業はパワーポイントを使用し、博物館展示の基礎を体系的に講義する。</p> <p>また、毎回簡単な小テストをポートフォリオで行い、学生証のタッチと小テストの回答の両者で出席確認を行う。</p> <p>この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は 180 分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書： 特に指定なし</p> <p>参考書： 第 1 回講義内で紹介する</p> <p>指定図書：青木 豊 2013『集客力を高める博物館展示論』雄山閣</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>博物館展示論を受講することで、博物館の展示に関する知識と見方を養い、博物館を身近なものにすることを期待する。また、地域の博物館や資料館などに積極的に足を運び、そこで実践されている展示を観覧することで、地域における博物館展示の在り方についての問題点を把握できるようになってほしい。</p> <p>また、授業中の私語や指示の無いスマホの使用、理由のない遅刻・途中退回は認めない。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス 広義の展示	博物館展示論の流れを概説。 また、広義の展示についても解説する。 ※課題レポートの題目を発表。	予：『集客力を高める博物館展示論』の第1章を読んでおく。
2	展示の原則・理念	「展示」の字義の解説から、展示の原則及び理念について解説する。	予：『集客力を高める博物館展示論』の第1章を読んでおく。
3	展示論史	これまで述べられてきた展示論の歴史を紐解き、代表的な論について解説する。	予：『集客力を高める博物館展示論』の第2章を読んでおく。
4	展示の種類・分類 二元・二重・三重展示	現在展開されている展示分類論から、展示の種類・分類について解説する。 また、「二元展示」、「二重展示」、「三重展示」についても併せて解説する。	予：『博物館展示の研究』の第V章 1～4を読んでおく。
5	提示と説示	博物館展示の一形態である「提示型展示」と「説示型展示」について解説する。 ※確認テスト実施	予：『集客力を高める博物館展示論』の第4章を読んでおく。 復：確認テストを踏まえて展示に関する基本を再確認する。
6	象徴展示、ジオラマ、構造展示	博物館展示の一形態である「象徴展示」、「ジオラマ展示」、「構造展示」について解説する。	予：『人文系博物館展示論』の第IV章を読んでおく。
7	比較展示、時間軸展示、変遷展示	博物館展示の一形態である「比較展示」と「時間軸展示」、「変遷展示」について解説する。	予：『博物館展示の研究』の第V章 8を読んでおく。
8	ハンズ・オン展示とマインズ・オン展示	博物館展示の一形態である「ハンズ・オン展示」と「マインズ・オン展示」について解説する。	予：『集客力を高める博物館展示論』の第4章を読んでおく。
9	動感展示、動態展示	博物館展示の一形態である「動感展示」と「動態展示」について解説する。	予：『博物館展示の研究』の第V章 5を読んでおく。
10	照明、什器、展示機器	展示に使用する機器のうち、照明と展示ケースについて解説する。 ※確認テスト実施	予：展示具の違いに注目して展示を見学する。 復：確認テストを踏まえて展示の手法を再確認する。
11	演示具、心理柵、パネル	展示に使用する機器のうち、演示具、心理柵、題箋、パネルについて解説する。	予：博物館を見学し、題箋、パネルを確認する。
12	展示の諸形態 総合博物館、歴史・民俗博物館の展示	常設展示、特別展示、企画展示について解説する。 また、館種別の展示形態として、総合博物館、歴史系博物館、民俗系博物館の展示について説明する。	予：総合博物館、歴史系博物館、民俗系博物館のいずれかを見学して違いを把握する。
13	自然史・科学博物館、美術館の展示	館種別の展示形態として、自然史博物館、科学博物館、美術館の展示について説明する。	予：自然史博物館、科学博物館、美術館のいずれかを見学して違いを把握する。
14	動物園、水族館、植物園の展示	館種別の展示形態として、動物園、水族館、植物園の展示について説明する。	予：動物園、水族館、植物園のいずれかを見学して違いを把握する。
15	総括（展示動線、博物館展示の必須条件）	これまでの展示論の総括として、展示論全体を概観することで、現在の博物館展示の課題を探る。 ※課題レポート提出、確認テスト実施	復：講義全体の復習を行う。また、確認テストを踏まえて展示の諸形態を再確認する。
16	定期試験	筆記試験を実施する。確認テストより出題する。	予：試験準備を行う。